



## 巻末資料

テクマトリックス株式会社

(東証1部 3762)

<http://www.techmatrix.co.jp/>

テクマトリックスは「ITのスペシャリスト集団」です。

**商号：** テクマトリックス株式会社

<b>所在地：</b> 本社	東京都港区三田3-11-24
大阪支店	大阪府大阪市中央区南本町2-6-12
九州営業所	福岡県福岡市博多区博多駅前1-5-1
仙台営業所	宮城県仙台市青葉区大町1-1-8
名古屋営業所	愛知県名古屋市中区錦1-16-7
札幌営業所	北海道札幌市北区北7条西4-4-3
本社相模原分室	神奈川県相模原市中央区相模原6-22-9

**設立：** 1984年8月30日

**資本金：** 12億9,812万円

**発行済株式数：** 12,379,600株

**従業員数：** 2015年9月30現在 971名(連結)

**決算期：** 3月

**役員構成：** 取締役9名（社外取締役4名）、監査等委員会設置会社、執行役員制を導入

テクマトリックスは「ITのスペシャリスト集団」です。

1984年 8月	ニチメン株式会社（現双日株式会社）の営業部門子会社 「ニチメンデータシステム株式会社」として設立
1996年12月	業務パッケージ事業に参入 CRMパッケージ「FastHelp」を自社開発し販売開始
1998年10月	DICOM対応医用画像サーバ「Secured DICOM Server （現 SDS Image Server）」を自社開発し販売開始
2000年 7月	ニチメン株式会社が全保有株式をITX株式会社に売却 同社の連結対象子会社となる
2000年11月	社名を「テクマトリックス株式会社」へと変更
2001年 2月	関係強化を目的に、楽天株式会社に第三者割り当て増資を実施
2005年 2月	ジャスダック証券取引所に上場
2007年 8月	合同会社医知悟を設立
2008年 1月	クロス・ヘッド株式会社を連結子会社化
2009年 8月	株式会社カサレアルを完全子会社化
2010年 6月	東京証券取引所 市場第二部に上場
2013年 2月	東京証券取引所 市場第一部に指定
2014年 3月	クロス・ヘッド株式会社、沖縄クロス・ヘッド株式会社を完全子会社化
2015年 4月	クロス・ヘッド株式会社がエヌ・シー・エル・コミュニケーション株式会社を吸収合併
2015年 5月	本社事務所を本社御殿山分室と統合・移転
2015年 8月	楽天株式会社の保有する当社株式の大半を自己株式として取得

2015年9月30日現在

株主	株数 (株)	比率
自社（自己株）	3,694,356	29.84%
テクマトリックス従業員持株会	413,400	3.33%
楽天株式会社	362,000	2.92%
個人	354,500	2.86%
個人	223,500	1.80%
株式会社SBI証券	211,100	1.70%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	207,000	1.67%
個人	166,000	1.34%
CBNY – GOVERNMENT OF NORWAY	150,500	1.21%
個人	146,200	1.18%

## クラウド時代を支える基盤技術の提供

カテゴリー	ソリューション	主要取扱製品	備考
ネットワーク	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アクセス集中によるWebサイトの不安定化を解消</li> <li>・システム停止やバックアップなしにデータ容量追加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・負荷分散(※1)装置の<b>トップシェア</b>を誇る<b>米国F5 Networks社製品</b></li> <li>・クラスターストレージで技術的評価の高い<b>米国EMC (Isilon) 社製品</b></li> </ul>	ネットビジネスの拡大による持続的成長
セキュリティ	総合的なセキュリティ対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「使い捨て」パスワードによる個人認証の<b>トップシェア</b>を誇る<b>米国EMC (RSA) 社製品</b></li> <li>・<b>米国McAfee社製品</b></li> <li>・<b>次世代ファイアウォール(※2)</b> <b>米国Palo Alto Networks社製品</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サイバー攻撃等が増加</li> <li>・セキュリティ監視サービス「<b>TRINITY</b> &lt;トリニティ&gt;」</li> </ul>

独自の目利き力を活かし、北米を中心にニッチながらも、高い技術力、競争力、成長力をもつ製品やサービスを見極め、単なる製品販売にとどまらない高付加価値なフルラインのサービスをお届けします。

グリーンIT、仮想化(※3)ソリューション(※4)、次世代ネットワーク、セキュリティ、ストレージ(※5)等、コスト競争力のある堅牢で可用性の高い情報基盤の構築をお手伝いします。加えて、企業向けシステム導入以降に必要な保守・運用・監視サービス等、システムのライフサイクル全てをカバーするITサービスを提供します。

連結子会社であるクロス・ヘッド株式会社ならびに沖縄クロス・ヘッド株式会社においては、ネットワークやサーバ(※6)の運用・監視及びネットワークエンジニアの派遣、セキュリティ製品やストレージ製品の販売等を行います。

企業のITシステム投資の方向性が、設備の「所有」とサービスの「利用」と二極化しています。テクマトリックス・グループでは、一般企業向けに加えて、通信キャリアや大手のITサービス事業者へ製品、サービスの提供を行なうことにより、「所有」する企業に対しては直接的に、「利用」する企業に対しては間接的に情報基盤ソリューションの提供を行なっています。

## 業務に特化したソリューションの提供

分野名	顧客ニーズ	密接なタイアップ先	備考
医療	医療機関の 経営効率化	多様な販売チャネル 電子カルテベンダー 医療機器ベンダー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療クラウドサービス「<b>NOBORI</b>」</li> <li>・地域拠点病院を核に地域医療連携へ展開</li> <li>・中小規模（<b>100～400床</b>）をターゲットに <b>約600の施設で実績</b></li> </ul>

医療分野では、自社開発製品を中心として、医療機関向けに、さまざまな医用画像（CT<sup>(※7)</sup>、MRI<sup>(※8)</sup>、内視鏡、超音波、PET<sup>(※9)</sup>など）の統合管理システムを提供しています。また、複数の放射線科専門医と共同出資で設立した連結子会社、合同会社医知悟では、**遠隔読影診断**のためのインフラの提供サービスを展開しています。

分野名	顧客ニーズ	密接なタイアップ先	備考
CRM	コールセンタ <sup>(※10)</sup> 業務の円滑化	ベルシステム24 エヌ・ティ・ティ・データ 伊藤忠テクノソリューションズ 交換機ベンダー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国内<b>トップクラスの導入実績</b></li> <li>・製品の共同開発も展開</li> <li>・小規模から<b>1,000席以上</b>の大型センターにも対応</li> </ul>

CRM(Customer Relationship Management)分野では、自社開発製品を中心として、企業の顧客サービス向上を支援するシステムを提供しています。電話、メール、インターネット等による「顧客との接触履歴」と「顧客の声」を一元管理しコンタクトセンター運営を効率化するCRMシステムを始め、インターネットによる自己解決型の顧客サービス・システムや、顧客特性に応じた販売促進活動を支援するプロモーション支援システムの開発・販売を行なっています。これらのシステムは従来のオンプレミス<sup>(※11)</sup>だけでなくクラウド<sup>(※12)</sup>（SaaS<sup>(※13)</sup>）によるサービス提供も行なっています。

## 業務に特化したソリューションの提供

分野名	顧客ニーズ	代表顧客	備考
インターネットサービス	ECサイトの構築 安定稼働の実現 ビッグデータ分析 <金融分野> 高精度なリスク管理 金融商品取引の管理	<b>楽天グループ、リスクモンスター、                      パルシステム、エヌ・ティ・ティ・ドコモ                      大手行、生保、損保、                      金融系、IT企業</b>	・優良顧客との安定的な取引 ・クラウドサービス「楽楽バックオフィス」の展開 ・規制強化を見据えた金融機関のデリバティブ取引をターゲット

インターネットサービス分野では、主にウェブ系技術を活用したシステム開発<sup>(※14)</sup>を行っており、開発するシステムの категорияは、一般業務系、基幹業務系に広がっています。お客様の経営戦略に応じた多種多様なシステムニーズを満たす為に、システム企画・立案におけるシステムコンサルティングや要件定義・設計から、システム標準化を实践する開発およびテスト<sup>(※15)</sup>、そしてセキュアで安定的なシステムの運用・保守サービスを提供いたします。連結子会社である株式会社カサリアルはインターネットサービスに関連したシステム開発・利用技術教育を行なっています。

金融分野では、金融デリバティブ<sup>(※16)</sup>商品や保有金融資産の時価評価、信用リスク<sup>(※17)</sup>などを統合計量化するシステム等、金融工学の技術を駆使した様々なリスク管理システムの受託開発、自社開発製品の販売及び金融関連ソフトウェア製品の販売を行っています。

## 業務に特化したソリューションの提供

分野名	顧客ニーズ	主要取扱製品	備考
ソフトウェア品質保証	品質向上支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>•テストツールで<b>トップシェア</b>を誇る<b>Parasoft社製品</b>の<b>独占販売</b></li> <li>•分析ツール<b>Lattix社製品</b>、<b>Scitools社製品</b>を<b>独占販売</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>•各種ツールの販売</li> <li>•規格準拠のためのコンサルティング</li> </ul>

ソフトウェア品質保証分野では、ソフトウェアの品質向上を目標に、ソフトウェア開発過程の全ライフサイクルを支援するベスト・オブ・ブリード(※18)のツール及びエンジニアリングサービスを提供しています。情報家電、カーナビ、OA機器や携帯電話のソフトウェアのみならず、より高度な安全性実現を求めるコンプライアンスに対応する必要がある自動車、医療機器、ロボットなどのソフトウェア、金融システムのようなミッション・クリティカル(※19)なソフトウェア等が対象となります。

例えば、自動車製造におけるコンプライアンスとして、欧米を中心にソフトウェアの**機能安全**に関する国際規格が制定されています。

当社はこれに対応したツールの販売及び規格準拠のためのコンサルティングを行っています。



**ISO26262**  
自動車





**IEC61508**  
電気・電子機器関連



**TEC62304/FDA**  
医療機器



## 連結子会社は4社で形成

子会社名（持ち分比率）	事業内容
合同会社医知悟（95.0%） 	遠隔診断を支援するIT情報インフラの提供・ 遠隔診断実施医師に対する業務支援情報サービス等
クロス・ヘッド株式会社（100.0%） 	ITシステム基盤のコンサルティング/設計/構築、海外IT製品の輸入・販売・サポート、ネットワークエンジニア派遣、ハウジング・リモート監視/運用・ディズアスタリカバリーサービス、運用/監視業務コンサルティング・一括業務請負、マルチベンダー対応の全国オンサイト保守サービス、IT技術者教育/育成等
沖縄クロス・ヘッド株式会社 （クロスヘッドの100.0%子会社） 	沖縄県内IT人材育成・教育、ネットワーク・サーバーの構築、データセンターサービス/運用保守、SaaSサービス提供及び、ITエンジニアの派遣等
株式会社カサリアル（100.0%） 	オープンソースソフトウェアによるシステム開発、及びIT技術者のトレーニングや研修等を提供する教育事業

## 会社概要

商号	合同会社医知悟（いちご）
所在地	東京都港区三田3-11-24
設立	2007年8月1日
代表者	CEO 加納 裕士
資本金	1億5千万円
事業内容	遠隔診断を支援するIT情報インフラの提供 診断医師に対する業務支援情報サービス



iCOMBOX（あいこんぼくす）

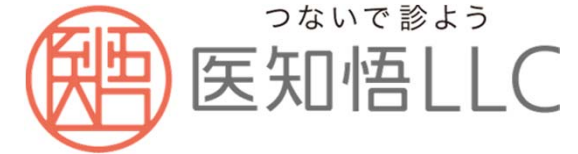
## 医知悟にとって

- 画像診断を必要とされる医療機関様
- 遠隔診断を始められる専門医の先生ご自身

**2つの立場** どちらもお客様です。

医知悟LLCは、専門医の先生と病院様の間で締結される遠隔診断に関する業務委託契約には介入しません。独立した立場で、遠隔画像診断を実現する情報インフラのみをご提供して、両方の立場をご支援します。

## 会社概要



- 2008年4月のサービス開始より接続拠点数 **470**施設以上
- 月間の依頼検査数**約15万件**（シェア**約38%\***）※矢野経済研究所調べ
- 登録利用専門医**900**名以上でインフラとしてはシェアNo.1
- 主な導入施設・プロジェクト

- 大手自動車会社 健診施設

確実なセキュリティ対応により同施設で初めてインターネットによる外部診断が認められました。

- **文部科学省 G P 島根大学医学部附属病院 女性医師キャリア維持支援プロジェクト**

在宅女性医師の自宅と大学病院、連携医療機関を接続。ネットワーク上でのグループワークを支援しています。テレビ東京のワールドビジネスサテライトの取材も受けました。

### その他の利用機関

東海大学医学部附属病院、国立病院機構豊橋医療センター他  
徳島大学、岡山大学  
海外拠点、米国、フランス、オランダとの接続実績



東海大学医学部附属病院



国立病院機構豊橋医療センター

## 会社概要

商号	クロス・ヘッド株式会社
所在地	東京都渋谷区恵比寿4-20-3
設立	1992年9月14日
代表者	代表取締役社長 関根 尚
資本金	3億9千5百万円
企業理念	「高度なネットワーク技術とヒューマンスキル」を基盤とし、「成長するネットワーク」を創造することによって顧客の発展・成長と社会への貢献を実現できる「バリュープロバイダ」を目指す。



## 企業コアコンピタンス

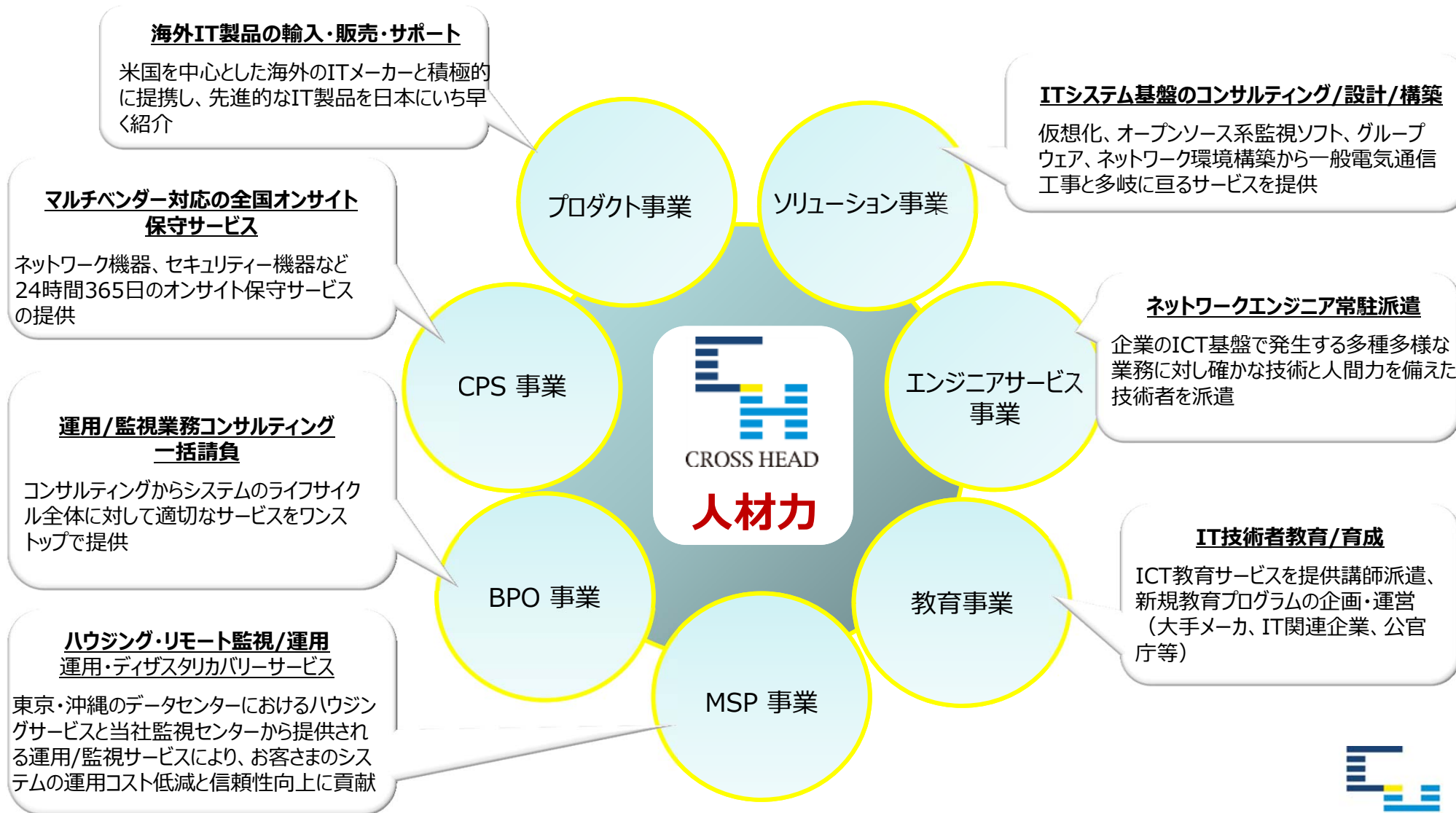
《人間力豊かな人材力》

従業員の教育に力を入れており、クロス・ヘッドの総合力の源になる優秀な技術者が高品質なICTサービスを提供する。

海外IT技術商社として「オープンネットワーク事業」「エンドポイントセキュリティー事業」「大容量ストレージ事業」の市場実績と技術蓄積。優れたICT技術・ICT製品を世界中から発掘、スピーディーに国内へ展開することを得意とする。

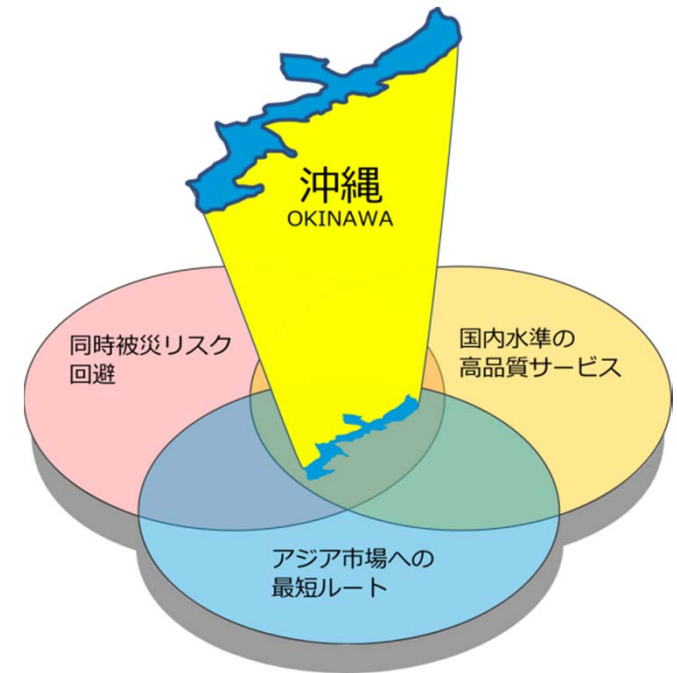
## 主要事業

## ICTソリューション事業/サービス事業で総合力を発揮



## 会社概要

商号	沖縄クロス・ヘッド株式会社
所在地	沖縄県那覇市旭町1番地9 カーナ旭橋B街区ビル
設立	2006年6月21日
代表者	代表取締役社長 渡嘉敷 唯昭
資本金	51百万円
企業理念	沖縄と本土とを、ITネットワーク技術でつなぎ、 沖縄県 IT 産業発展と人材の育成に貢献します。



IT市場において、沖縄県は、サービス技術の利用企業、提供企業、両方にとって3つの大きな市場価値を持っています。

- ①立地の優位性（同時被災リスクの回避）
- ②距離の優位性（アジア市場への最短ルート）
- ③コストパフォーマンスの優位性  
（国内水準の高品質サービスを、低価格で提供）

## 企業コアコンピタンス

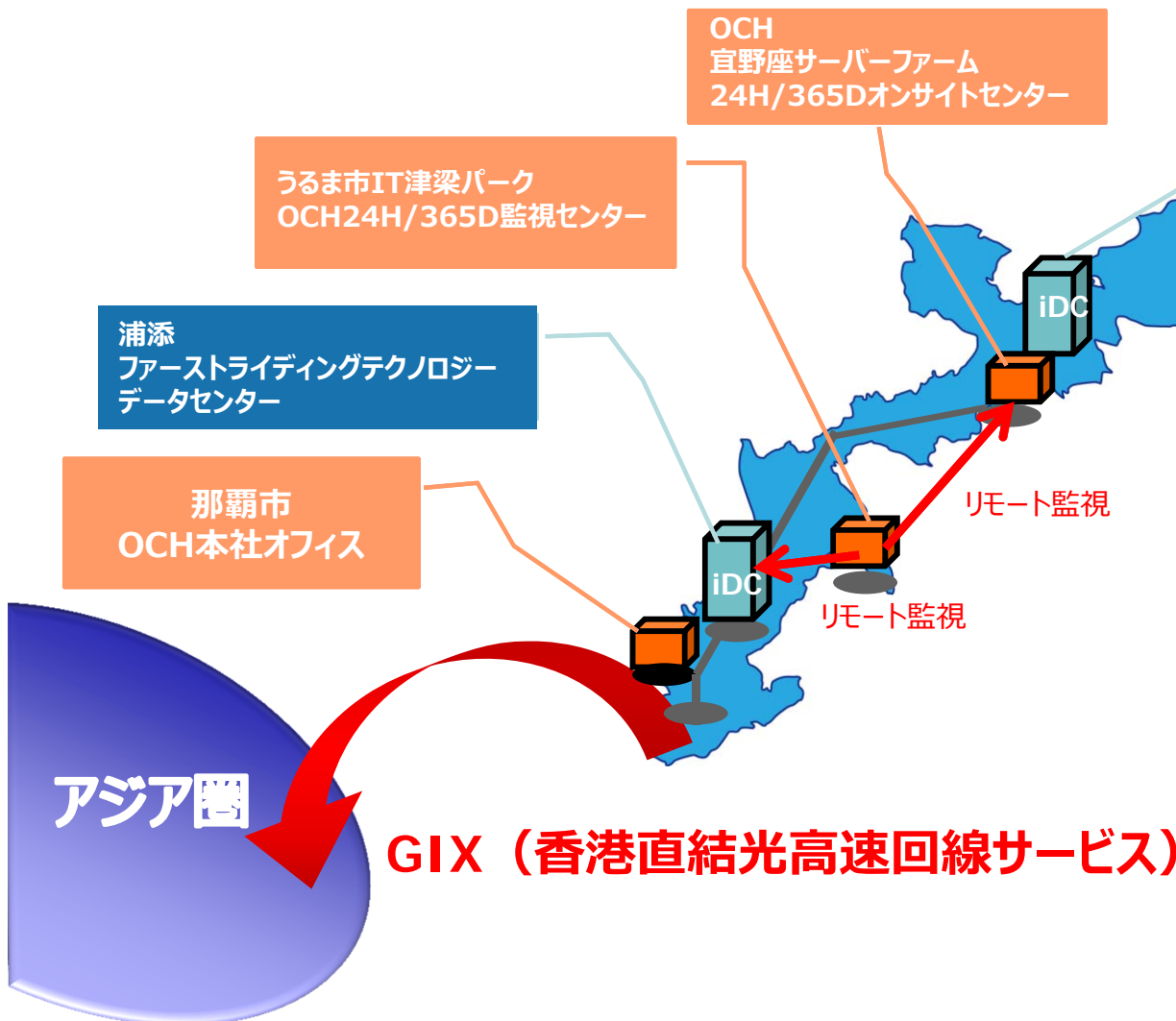
沖縄の地の利を活かしたICT技術、ネットワーク、データセンターに関連する製品・サービスで沖縄県内外からアジアへと展開



OKINAWA CROSS HEAD

## 主要事業

県内に3拠点の事務所・センターに加え、主に2か所のデータセンターを利用して県内・県外、そしてアジア圏へとサービスを展開



### ■ MSPサービス

高ファシリティのMSPセンターにて、24時間365日の有人監視サービスを、県内、県外のユーザーに提供

### ■ プロダクトサービス

沖縄県のデータセンター内に設置の自社システム設備を使って県内外、そしてアジアへネットワークを使ったプロダクトサービスを提供

自社ブランド、クラウドデータセンターサービス **CUMO** (キューモ)

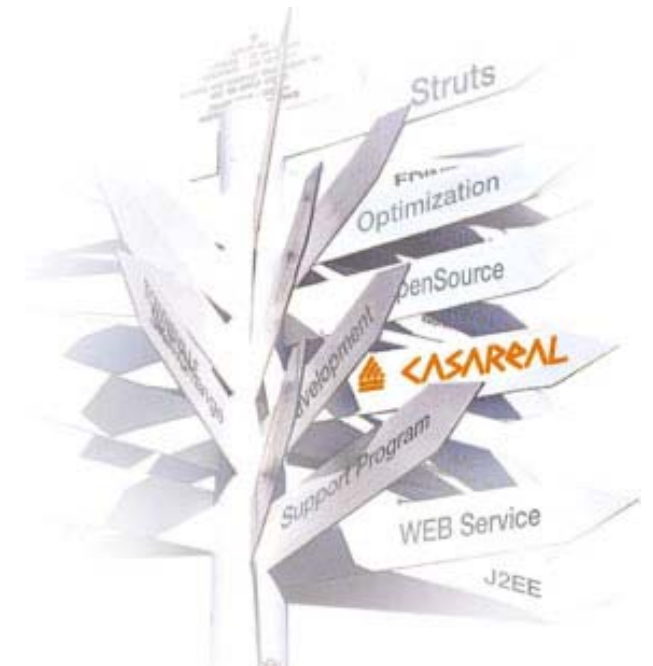
**CUMO**のクラウドサービスから利用できるグループウェア、Web データベース、Webメール等、アプリケーションを提供

### ■ ネットワークサービス

沖縄県内のネットワークサービスと、沖縄県と香港とを光海底ケーブルでつなぎ、高品質な高速回線サービスのGIX サービスを提供

## 会社概要

商号	株式会社カサリアル
所在地	東京都港区三田3-11-24
設立	1999年7月2日
代表者	代表取締役社長 窪 伸一郎
資本金	5千万円
企業理念	カサリアルは、個人の成長によりお客様の成長を実現する会社です。私たちは常に「学ぶ」姿勢と「チームワーク」を大切に、社員一人一人の成長を通じて社会に貢献していきます。



### 【事業内容】

#### ● システム開発サービス

- ◇ JAVA・PHPを用いたWebアプリケーション開発
- ◇ スマートフォン向けアプリケーション開発

#### ● 技術教育サービス

- ◇ システム開発経験者によるエンジニア向けの実践技術教育

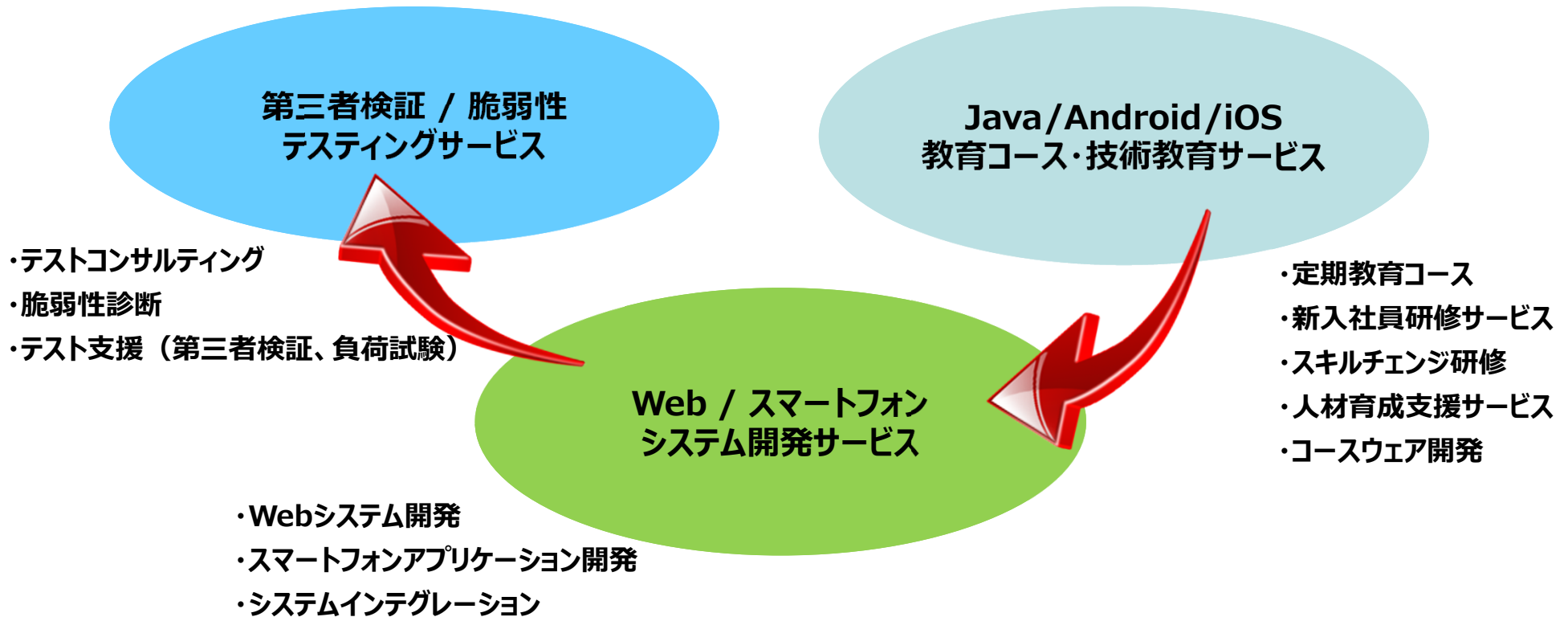
#### ● テスティングサービス

- ◇ テストコンサルティングサービス





## 主要事業



- 長年の実績、経験を生かし、オープンソースをフルに活用したシステム開発を支援
- アプリケーション開発支援から技術者研修まで スマートフォン向けサービスの提供
- 高品質なシステム構築を実現すべく、開発上流工程から下流まで幅広くテストを支援

※1	負荷分散	ウェブサイトへのアクセス集中による反応の低下やシステム停止を防止するため、多数のアクセス（負荷）を適切にサーバに振り分ける（分散する）こと。
※2	次世代ファイアウォール	従来のファイアウォールでは防ぐことのできないセキュリティの脅威に対応した製品。例えば、通常のインターネット利用に紛れて内部に侵入し、情報漏えいを引き起こす最近のサイバー攻撃や、流れるデータに対する木目細かい制御が必要なファイル共有ソフト等による情報漏えいを防ぐ。
※3	仮想化	コンピュータシステムを構成する資源（サーバ、ストレージ、ソフトウェア等）に関する技術。複数から構成されるものを論理的に一つのもののように見せかけて利用できたり、その逆に一つのことを論理的に複数に見せかけて利用できる技術。
※4	ソリューション	業務上の問題点や要求の実現をコンピュータシステムを構築して処理を行うことにより解決すること。
※5	ストレージ	コンピュータで処理に使うプログラムやデータを記憶する装置のこと。外部記憶装置。
※6	サーバ	コンピュータシステムにおいて、クライアントコンピュータに対して、自身の持っている機能やデータを提供する側のコンピュータのこと。サーバコンピュータ。
※7	CT	コンピュータ断層撮影装置。医用検査装置の一つ。
※8	MRI	核磁気共鳴画像撮影装置。医用検査装置の一つ。
※9	PET	陽電子放射断層撮影装置。医用検査装置の一つ。
※10	コールセンタ	顧客からの問い合わせなどの電話対応業務を専門に扱う窓口・拠点。
※11	オンプレミス	情報システムを利用するにあたり、自社管理下にある設備に機材を設置し、ソフトウェアを配備・運用する形態のこと。
※12	クラウド	クラウド（雲）はインターネットのことを意味する。従来はユーザがハードウェア、ソフトウェア、データを自分自身で保有、管理していたのに対して、これらをユーザが保有せずにインターネット経由で利用できるようにするサービス提供の形態。
※13	SaaS	ソフトウェアを販売するのではなく、ユーザが必要な機能をインターネット経由で利用してもらうサービス提供の形態。Software as a Serviceの略。

※14	システム開発	コンピュータシステムの設計、プログラミング、テスト等を行うこと。
※15	テスト	構築したシステムが設計どおりにプログラムされ、適切に機能するかどうかなどの確認を行うこと。
※16	デリバティブ	基礎となる金融商品等（債券、為替、金利等）の市場価格によって相対的に価格が変動する金融商品等を指す。金融派生商品とも言う。
※17	信用リスク	債務者がその債権を履行できなくなるリスク。
※18	ベスト・オブ・ブリード	同一メーカーのシリーズ製品を使うのではなく、メーカーが異なっても最良と思われる物を選択し、その組み合わせで利用すること。
※19	ミッション・クリティカル	24時間365日、止まらないことを要求されるコンピュータシステムのこと。